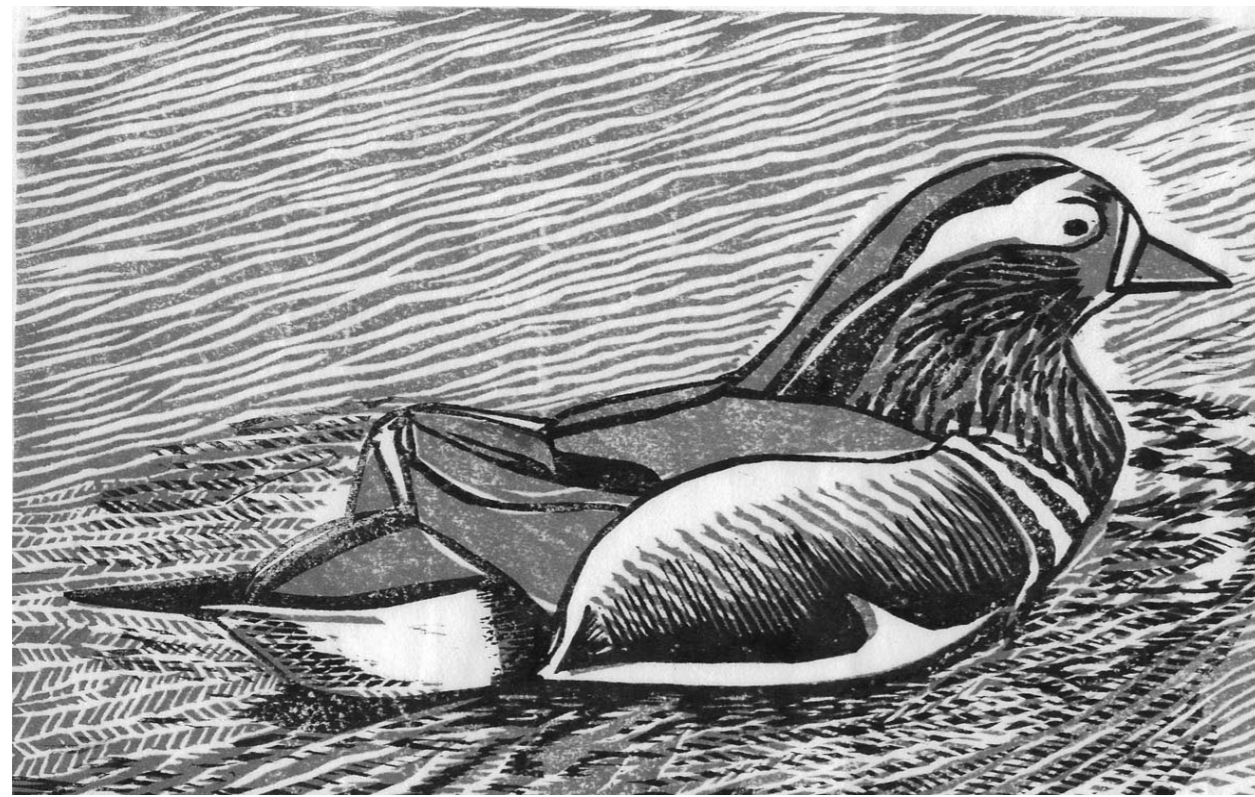


いたちかわらばん

通刊44号 鮰川・狹川 / 川原番・瓦版 **09 冬号**



【版画 宗森英夫】

(おしどり)

いたち川の冬の楽しみ野鳥観察

落葉樹の葉が落ちて、川岸の草も枯れて、見通しが良くなった水辺に餌を求めて来る野鳥の姿が目につく季節、いたち川で見られる鳥を探してみたいかがでしょう。

カワセミ、カルガモ、ハクセキレイ、コゲラ、ジョウビタキ、アオサギ・・・と見慣れない鳥や人気がある鳥から、スズメ、ハト、カラス、ヒヨドリ、コサギ・・・とよく知られている鳥までいろいろ来ています。

冬に渡ってくる鳥では、オシドリも確認されています。雄の冬羽は尻尾の方にイチヨウの葉の形をしたイチヨウ羽が特長で、嘴は赤く、頭は緑と金と白、身体は赤、栗色、緑の羽が特に鮮やかで、雌と番(つがい)で泳ぐ姿は仲の良い夫婦にたとえられて、万葉の昔から和歌に詠まれ、しばしば絵に描かれているので、見つけられるといいですね。

オシドリは、この辺りでは冬の渡り鳥ですが東北地方より北では夏鳥であり地域によっては一年中見られる所もあるそうです。浅いところで小石をひっくり返して水生昆虫を食べたり水辺で草の種や木の実を食べますが、繁殖期には特にドングリ類を好むそうで、木の枝に止まっているかも知れません。

耳を澄まして鳴き声を聞き、木々に残る巣を見つめるのも野鳥観察の楽しみです。新しい発見がありましたら、「いたちかわおたすけたい」までお知らせください。(うぐいす)

第3回 水辺愛護会等交流会報告(概要)

日時：平成20年10月5日(土) 14:00～15:30
場所：鶴沼公民館 第3談話室 参加者：水辺愛護会等 19人

交流会では、「いたち川の生物について」や「ゴミについて」、「ボランティアについて」などが話し合われました。また、「いたち川を上流から下流まで同じ日に清掃するという企画について」や、「セイタカアワダチソウをやっつけよう。ススキを守ろう!」、「鯉を減らすには、どうしたら!」などについても意見交換が行われました。午前中の鶴沼海岸のクリーンアップイベントに参加した感想として、「鶴沼海岸はきれいにしていた。近くの若者からは、『サーファーが雨天時にゴミ拾いをしたり、商店街の人がプライドを持ってきれいにしているから。』という答えが返ってきた。いたち川も自分の川とってもらえると良いのかなと思った。」という意見もありました。



「身近なみどりを育むシンポジウム」と「緑地管理活動体験講座」が開催されました!

1 シンポジウム

平成20年10月26日(日)に栄区役所で「身近なみどりを育むシンポジウム」が開催されました。当日は、作家の浜田さんの基調講演と、よこはま里山研究所の吉武さんのコーディネイトによる座談会が行われました。座談会では、栄さとやまの会の小宅さん、荒井沢市民の森愛護会の草本さん、本郷ふじやま公園運営委員会の宗森さん、荒井沢緑栄塾楽農とんぼの会の大中さんが、活動の楽しさなどの経験談を話していました。



▲ 作家の浜田さん

2 緑地管理活動体験講座

平成20年11月9日に栄さとやまの会、11月22日に荒井沢市民の森愛護会、11月23日に本郷ふじやま公園運営委員会と協働で、緑地管理活動体験講座を実施し大好評のうちに終了しました。



▲ 栄さとやまの会の講座

伝えよう、わがまち栄を みんなに、そして未来に!!

～横浜開港150周年 栄区記念事業～ さかえ自慢150景 大募集!

栄区の魅力を再発見し、それを未来に伝えていくため、150景を選定します。“ここぞ!”という魅力的な場所を、是非、教えてください。誰もが知っているところから隠れた穴場まで、みんなが見られる栄区内の場所ならどこでも結構です。

- 応募資格：栄区在住・在学・在勤の方
- 応募内容：①風景(場所)が特定できるよう、名称、地名地番など ②応募した理由 ③あれば写真(場所の特定のためであり、選定に影響しません) ④季節の花の見ごろなど、応募時には見られない場合は時期などの情報 ※詳しくは、区役所ホームページや応募要領をご覧ください。
- 応募方法：応募用紙(区役所や区内地区センター等で配布)やハガキ、FAX、E-Mailで応募内容を。
- 締め切り：平成21年2月27日(金)
- お申込先：栄区役所区政推進課企画調整係(所在地、TEL、FAXは下記をご覧ください)
E-Mail sa-mizumidori@city.yokohama.jp

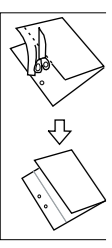
発行年月
2008年12月

発行：狹川IOTASUKE隊(いたちがわおたすけたい)
OTASUKE隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係
〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8161 FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道・公園係
〒247-0007 横浜市栄区小管ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせは こちらまで)

通刊44号

切り取り線

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



いたち川環境復元の紹介（復元のあゆみ その3）

前回までに海里橋までの区間において、魚など生物が棲める川の条件を主題として話しを進めてきました。今回は、海里橋から本郷小学校の東側の日東橋間について説明いたします。この区間も基本的考え方は同じですが、天神橋までは低水路の土留めを巨石や杭で行っている点が下流部と大きく違ってきます。その理由は、川が大きく曲がっている事と、区役所裏で右支川（猿田川）、その上流で左支川（洗井沢川）が流れ込むなど護岸や川床に作用する力が複雑でそれに耐える構造が必要だからです。

● 海里橋から区役所裏区間は川底にコンクリートブロックが張られたられた言わば「三面張」河川です。

此の区間は、太平洋戦争が終了するまでは、海軍の燃料廠として火薬庫や化学試験場設置されており、終戦後は米軍に接収され、返還されたあと、昭和50年代から河川改修工事が行われました。その時、川底から銃弾が多数発見され自衛隊の指導のもと取り除き作業を行いました。親水護岸が完成して一般に開放された後に清掃作業をしていた区民が川底から「透き通った白色の石で中心よりピンク色を放つ石」を拾いました。この石は乾いてくると発火して「黄リン」であることが判明したため改めて川浚いを行い、安全性を高めるために川底をコンクリートブロックで覆う事になったのです。

● 城山橋上流から“幽霊”！！

戦後の昭和40年頃の噂話ですが、夜中になると川の中から人魂と共に幽霊が出たのを大勢の人が目撃したと云われています。幽霊を信じる人もいるかも知れませんが、その当時の状況を考えて見ると次のようなことだったのでしょ。川には家庭排水が流れ込み昼間は水量が多く深夜になると水量は極端に少なくなり川底にあった「黄リン」が空気に触れて燃え出し青白い炎が人影の様になって川縁を「ゆらゆら」と数カ所から立ちのぼるを見た人が幽霊と思いこんだのではないかと。現在このような噂が無くなったのは家庭排水が無くなって水位が一定になったことと前述した河床防護によるものと思わます。

● 警察学校の入り口右岸から出る大量の水は？

栄第一水再生センターからの処理水です。この処理水は、栄区（長沼と小菅ヶ谷の一部を除く）と戸塚区、港南区の一部の家庭排水を処理した水です。この処理水には消毒液が混入されているわけですから、いたち川に放流された水を早く自然水に近づけるため、人工的に早瀬を作り空気を混入させて処理水に含まれる消毒液を早く自然水になるように考えたもので、警察学校の橋と海里橋間には川を横断するように水中に3列の石を配置しています。

● 区役所裏に“いたち”がいっぱい！！

川の中に3匹の親子の“いたち”の石像があります。この石像は遊び心だけで設置しているわけではありません。その下流部にはコンクリート製の段差がありましたが、そこを改良して自然石により魚道構造としたときに、流れ落ちる水流に多様性を持たせるために固定した石が必要に成り、この石像により早瀬を好む魚、緩やかな流れを好む魚に対応出来る魚道が構成されました。

大いたち橋、小いたち橋の親柱にデザイン化した“いたち”像があります。この橋のデザインについては、本誌第2号でも紹介しましたが創作童話により造られたものです。

● 天神橋上流部分は洪水地帯だった！

区役所裏で支流の2支川が合流している事もあり、増水すると2支川からの水量によって本川水流が止められて天神橋周辺は頻りに洪水が起こった記録があります。上耕地橋、小長谷橋、本郷橋（前の名前は学校裏橋）この周辺から溢れた水は県道原宿・六浦線を横断して右支川に流れこんで洪水を起こしていたのです。いたち川を河川関係者が通称“あばれ川”と呼んでいた由縁です。

● 歴史を物語る鎌倉時代の遺構

鎌倉街道の下道（新橋から石橋を通り春日神社を經由して弘明寺に至る）や金沢の港に通じる街道がいたち川に沿っています。金沢に向かう街道は栄図書館の近くを通り天神橋左岸を上流に向かい小長谷橋で川を渡り本郷小学校に向かう小道が現在も残っています。小長谷橋の脇には、巡礼供養塔があり付近の人により花が絶えたことがありません。現在の安置されている場所は河川工事により平成7年に移されたもので、工事前は小長谷橋下流の右岸側にあったものです。



【旧小長谷橋】昭和期まで木製の橋で橋長6m位でした。



【河川改修後の小長谷橋】平成2年に架け替え橋長13mです。

● お花見の名所

警察学校から区役所裏までの川沿いには、ソメイヨシノ、コヒガン桜、シダレ桜、ヨコハマ緋桜が3月から4月にかけて満開となりますが、よその桜の名所と違って宴会をしている人はなく、桜の花の下を静かに散策する人が多いようです。近年雑誌で紹介されてから電車で訪れる人が多くなっているようです。

水・人・子（ミジンコ）

